2026年11月12日

各　位

会　社　名　　株式会社イーディーピー
代 表 者 名　　代表取締役社長　藤森　直治
（コード番号:7794、東証グロース市場）
問 合 せ 先　　代表取締役副社長　兼　総務部長　髙岸　秀滋
（TEL 06-6170-3871）

2027年３月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年11月12日開催の取締役会において、現時点における受注状況、今後の販売見通し及び棚卸資産評価損の影響等を踏まえ、2026年５月13日付で開示した2027年３月期(2026年４月１日～2027年３月31日)通期の業績予想を下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

１．修正の内容

（１）連結業績予想　2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）　（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	1,100	△283	△189	△195	△12円60銭
今回修正予想（B）	1,117	△413	△343	△348	△18円29銭
増減額（B－A）	17	△130	△154	△153	－
増減率（%）	1.5	－	－	－	－
（ご参考）前期実績 2026年３月期	516	△1,360	△1,341	△2,415	△164円94銭

（２）個別業績予想　2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）　（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	1,100	△167	△178	△11円50銭
今回修正予想（B）	1,117	△336	△436	△22円92銭
増減額（B－A）	17	△169	△258	－
増減率（%）	1.5	－	－	－
（ご参考）前期実績 2026年３月期	550	△929	△897	△173円47銭

２．修正の理由

種結晶の販売が堅調に推移すると見込んでおりますが、基板・ウエハ関連製品につきましては、下期に売上が回復するものの通期では前期実績を下回る見込みであり、通期の連結売上高は、当初の予想と概ね同水準と予想しております。

一方、損益面につきましては、当中間期末までの製造工程における合理化等の取り組みにより、製造直接費は前年同期比で約33%減少しました。一方で、委託費等の増加により、販売費は前年同期比で約10%増加いたしました。合計のコストは低減しており、本来なら損益においても改善

が見られるところでしたが、棚卸資産の評価において、製品、親結晶及び仕掛品等に係る評価損が当初の想定を大幅に上回って発生したことから、損失が予想を上回りました。通期においてもコスト低減は達成できる見込みですが、中間期同様に評価損の発生を考慮いたしました。

なお、2026年５月27日付で開示した「「中期経営計画2028」策定に関するお知らせ」に記載した2028年３月期、2029年３月期の業績計画数値への影響につきましては現在精査中であり、今後、開示すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

＜ご参考＞

製品の分野別の売上予想の状況は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	種結晶	宝石	デバイス関連	その他	合計
2026年５月27日予想（注）	527	73	463	37	1,100
2026年11月12日予想	771	25	284	37	1,117

（注）2026年５月27日付「「中期経営計画2028」策定に関するお知らせ」にて開示

以　上